

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進
-------	---------------------

施策3	事業者間連携による販売促進支援の強化
-----	--------------------

1 令和4年度 施策の方向性	
事業者にとって、限られた資源を有効活用し、相乗効果を高める連携は付加価値向上に取り組む有効な手段となる。そのため、産業間、商工会間、事業者間などの従来の枠組みを超えた新たな連携を強力に推進し、事業者間の実情に応じた連携機会の創出を支援する。	

**2 事業概要** ※ ( ) は活動目標値

<b>(1) 事業者間連携促進事業</b>	
事業者の強みを融合させた相乗効果による付加価値を生み出すため、事業者間連携事業を推進し、連携による新たなビジネスチャンスの創出を支援した。	
<b>■活動内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>商工会報及び商工会ホームページを通じた連携事業の事例周知                      &lt;商工会報10月号&gt;                      ▽挑戦する潟上企業                      菓子製造小売業と佃煮製造小売業の連携                      (株)ジェー・ユー (パティスリーパルテール) ×(有)佐藤徳太郎商店</li> <li>▽経営お役立ち情報                      お互いの得意分野を活かして大きな成果につなげませんか?                      「事業者間連携」は生産性・魅力向上への第1歩です!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示商談会「FOOD STYLE Kansai」への出展支援：4社</li> <li>来店促進イベント実施「ワンコインスタンプラリー」：15店参加</li> </ul>
<b>■達成状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>連携事業情報の周知：2回(3回)</li> <li>連携事業実行に向けた支援件数：4件(3件)</li> <li>農商工等連携事業計画提案件数：0件(5件)</li> </ul>	
<b>(2) 観光拠点連携強化事業</b>	
地域の観光拠点である道の駅等と連携し、地域一体となった集客事業を実施することにより、販売促進を強化し、観光客等地域外からの資金獲得を支援した。	
<b>■活動内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市行政及び観光施設(道の駅)への開催に係る情報収集、開催打合せ</li> <li>出店事業者と商品取り扱い等の打合せ</li> </ul>	
<b>■達成状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>潟上市商工会認証特産品販売会：1回(1回)                      令和5年2月11日(土)「道の駅しょうわ ブルーメッセあきた」にて開催</li> <li>事業者間交流機会の提供：1回(1回)                      展示商談会「FOOD STYLE Kansai」にて情報交換会開催</li> </ul>	

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(1) 事業者間による連携事業実施数</b> <small>事業者間の連携事業実現数                      ※イベント等の共同開催は除外する。</small>	4回 (1回)	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)
達成状況	達成				
<b>(2) 観光拠点主体の販売会への参画事業者数</b> <small>観光拠点を主体とした販売会に参画した事業者数</small>	7社 (5社)	(5社)	(10社)	(10社)	(15社)
達成状況	達成				

**4 施策目標に関する検証**

<b>(1) 事業者間連携事業実施数</b>	
<<効果があった事業及びその内容>>	何が良かったのか ・事業者間連携促進事業 会報やホームページを活用して、事業者間連携の具体的な事例を事業者のインタビュー形式で紹介したこと。 展示会商談会への出展やイベント開催を通じて、事業者同士の交流を図り、連携機会を創出したこと。
<<検討の余地がある事業及びその内容>>	何が悪かったのか ・事業者間連携促進事業 農商工連携についての情報収集が不足していたことと、案件の掘り起こしができなかったこと。
<b>(2) 観光拠点主体の販売会への参画事業者数</b>	
<<効果があった事業及びその内容>>	何が良かったのか ・観光拠点連携強化事業 道の駅のイベント開催に合わせて販売会を実施し、本会の認証特産品の周知と販売により、地域外からの資金獲得につなげることができたこと。
<<検討の余地がある事業及びその内容>>	何が悪かったのか ・観光拠点連携強化事業 販売のみならず、事業者間の連携機会を創出する目的もあったが、交流機会を作ることができなかったこと。

**5 次年度への改善点**

<b>(1) 事業者間連携促進事業</b> 本会の事例のみならず、様々な連携事例情報を収集し、積極的に情報発信を行う。 事業を通じて連携機会を積極的に創出し、異業種交流を促進する。
<b>(2) 観光拠点連携強化事業</b> 市や観光拠点との連携、共催を図るなど、販売会の開催方法を検討し、集客の相乗効果を狙った企画を行う。事業者同士の交流を促進し、事業連携への発展機会を創出する。